

平成23年度同窓会入会式

柏中・柏高同窓会へようこそ

平成二十四年三月十六日(金)、柏中・柏高同窓会の入会式が、午後一時から柏崎市民プラザの波のホールで行われました。午前中に学校で行われた卒業式に続いて、昼食会を兼ねた入会式を同窓会が主催したものです。当日は、高64回となる新入会員二三名が、男子はスーツ姿、女子はあでやかな振り袖やかま姿で入り会場は華やかな雰囲気になりました。昨年度卒業生の安達彩香さんの進行により、はじめに土田新吾同窓会長が「柏高同窓生には各界で活躍しておられる方が多い。強い力を感じて生きていてほしい。また、社会に出て落ち着いたら毎年の同窓会総会に是非誘い合せて参加して親睦を深めていただきたい」と新入会員に呼びかけました。来賓として

新潟柏会会長の室賀美津雄氏(高8回)、関西柏会会長の村田仙一氏(高11回)、東京柏会副会長の西川孝純氏(高19回)の三氏が紹介され、一言ずつ挨拶をいただき、西川孝純東京柏会副会長の発声により乾杯の後、昼食と歓談に入りました。今回は焼きそばやお寿司の他、洋風・中華風の各種オードブル、フルーツにケーキなどのデザート等も例年以上にたくさん用意され、参加者は腹ごしらえしながら友達同士や先生と和やかにまた賑やかに歓談していただきました。終わりに64回生幹事の皆さんが自己紹介し代表の佐藤航君の力強い挨拶があり、その後応援団のリードで校歌と応援歌を斉唱して会を締めくくりました。

高64回(平成24年3月卒業)柏中・柏高同窓会幹事

Table with 4 columns: Group (組), Officers (幹事), Members (副幹事), and Names. Lists names like 香子, 彩, 桜, etc.



夢に向かって

高64回幹事 重野 桜子

私たちが柏崎高校に入学してから三年が過ぎ、無事卒業式を迎えることができました。充実し、中身の濃い高校生活を送ることができたのは、さまざまな方達の支えがあったからだと思います。本当にありがとうございました。これから私達は、それぞれの夢に向かって歩み出していきます。感謝の気持ち、そして自分達は多くの支えの中で生きているということをお忘れず、後悔のない人生を送っていききたいと思ひます。

進学情報

国立新大初め89人



母校の大学進学状況がまとまった。国公立が新大をはじめ、89人、私立が114人だった。主なところは次の通り。【国公立】新潟30、新潟県立4、上越教育、長岡技術科学2、北海道、東北5、山形、福島、茨城、群馬、筑波4、群馬、高崎経済、前橋工科、埼玉3、千葉、首都大学東京2、東京学芸、横浜国立2、立2、富山3、金沢9、都留文科3、信州8、静岡文化芸術、名古屋2、京都、大阪府立、広島市立、高知県立、【私立】東北福祉、つくば国際、国際医療福祉、跡見学園女子、埼玉医療2、女子栄養、獨協2、神田外語、秀明、中央学院、帝京平成、了徳寺、青山学院3、桜美林2、大妻女子3、北里2、慶

平成23年度末・24年度初 県立柏崎高等学校人事異動

Table showing personnel changes with columns for '転出者・退職者' (Transfers/Resignations) and '転入者' (Transfers), listing names and positions like 校長 (Principal), 国語 (Japanese), etc.

編集後記

▽母校の今春の進路実績はめざましいものであった。数年ぶりに国立大合格者延べ3桁に上り、難関校合格者も多くを数えた。一方で、母校の今春の入試応募状況を危機感をもつて見た同窓諸氏も多かろう。理数・普通コースとも定員割れとなった。今春の進路実績が志願者数に影響すると思われる。来春か、再来春か。▽入学した時から「柏高生」であるのではない。母校ではそんなふうには言われている。規律、勤勉、礼儀、思いやり、向上心、仲間意識、それらを身につけて、「柏高生」になつていくのだ。仲間と切磋し、先輩の姿を見て学び、厳しくも愛情をもった恩師の指導で、身につけていく。新入生たち自身には定員割れは無関係だ。「柏高生」たるべく、日々成長している。▽三年に一度の文化祭は六月に体育祭と同時に開催されたが、秋には文化ウィークが予定される。機会があれば母校を訪れ、今の柏高の姿を見るのもいい。同窓として変わらぬ支援者でありたい。

Advertisement for various local businesses including 新野屋 (Shinonoya), 原酒造 (Hara Shuzo), 高鳥 (Takatori), 新沢歯科医院 (Shinazawa Dental Hospital), 柏崎日報社 (Kashiwa Daily), 山田明彦 (Yamada Akihiko), 佐藤塗料株式会社 (Sato Paint Co.), 高野毅 (Takano Tsuyoshi), ライブ商事 (Live Shoji), and 田優 (Tanaka Masahiro).